

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第192回 『CO-OP：コアップ』

作業療法士 塩津 裕康

作業療法士の塩津です。今回は拙著「子どもと作戦会議 CO-OPアプローチ入門（クリエイツかもがわ）」が出版されたこともあり…勝手ながらCO-OPを取り上げさせていただきます。

1. CO-OP…生協？

CO-OPアプローチは生協ではなく、「コアップ」と言います。不器用な子ども（発達性協調運動症）に対するアプローチとしてカナダで開発され、高い効果が認められています。日本ではまだまだ普及されていないため、これから日本でこのアプローチを普及させるために本を書きました。

2. CO-OPが大切にしていること

CO-OPで大切にしていることは「3つ」あります。それは①子ども中心、②目標とした活動の練習を行う、③問題解決、です。

①子ども中心

このアプローチでは、すべてのプロセスにおいて「子ども中心にすすめる」という特徴を持っています。その理由は、活動が「できる！」ようになるためには「モチベーション」がとても大事だからです。

②目標とした活動の練習

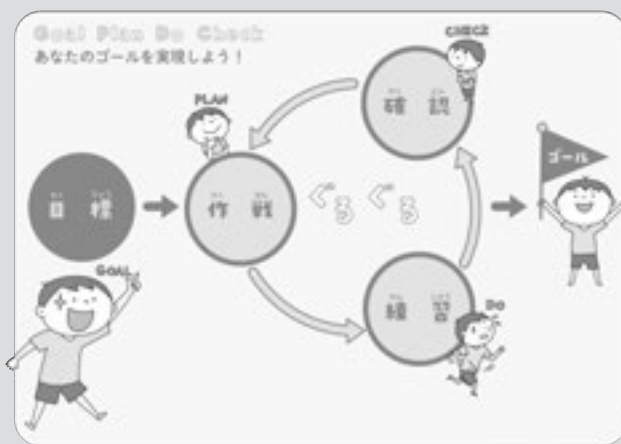
活動ができるようになるために、特殊な機器を使用したり、特殊な訓練はしません。実際に目標とした活動の練習を行うだけです。

③問題解決

活動の練習を行うだけと述べました。しかし、ただ繰り返し練習すれば、どの活動も上手くなるのでしょうか？答えはNOです。ではどうすれば良いのか？子どもに問題解決する機会を提供することです。ただし、問題解決する方法を教える必要があります。CO-OPでは「目標（Goal） 作戦（Plan） 実行（Do） 確認（Check）」の枠組みを使います。

3. 最後に

本書は、少し支援者向けに書いていますので、難しい内容の部分もありますが、まずは親子で「作戦会議」をしてみるのもいいかもしれません。どんどん変化する時代において、何かを教えるよりも「自身で問題解決していく力」が大切になると考えています。もし、機会があればホームページも覗いてみてください。



※塩津作業療法士は、あさひ園で個別療育相談を行っています。

12月の子育て支援事業



日程	時間	事業名	内容	対象	場所	予約	担当
12/14(水)・17(金)・21(水)・23(木)・R4年1/6(木)・11(水)・14(金)	10:00-12:00	あそび場	スキンシップ・ストレッチなどの遊	発達がゆっくりの子どもと保護者	ほっとくらぶ	不要	ほっとくらぶ (377-3522)
12/15(水) R4年1/7(金)		ほっとする親の会	茶話会				

*最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。

*お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。